

法心理・司法臨床研究会 公開研究会

少年院出院者 による更正支援

公開研究会趣旨

今回の公開研究会では、少年院出院者という立場から「非行」少年の支援や自助グループの活動をおこなう野田詠氏さんを講師にお招きしこれまでの活動の展開、今後の展望や課題についてご講演いただく。「反省はひとりではできるが、更正はひとりではできない」と語る野田さんの講演から更正における既存の支援の問題点と当事者の活動が果たす役割について議論を深めていきたい。法心理・司法臨床研究会は、立命館大学大学院の4つの研究科に所属する多様な専攻の大学院生8名からなる研究会である。事前に実施した勉強会と本公開研究会でのさまざまな角度からの議論を通じて「現場」と「研究」の架橋を試みたい。

講師 野田詠氏

10代で暴走族に所属し、19歳のときに4度目の少年鑑別を経験して少年院送致となる。そこでクリスチャンの兄から差し入れられた聖書を読んで自分を見守ってくれる神を信じるようになった。出院後、牧師を志し2000年に東大阪市にアドラムキリスト教会を開設。現在、更正支援団体チェンシングホーム代表 NPO法人セカンドチャンス！ 監事・大阪支部リーダーなども務める。主な著作物に『私を代わりに刑務所に入れてください』（2015年、いのちのことば社）がある。



日時・会場

3月7日 火曜日 13:00~15:00
立命館大学 朱雀キャンパス307教室
参加費・事前予約は不要です。

お越しの際は公共交通機関をご利用下さい。
お問い合わせは下記までお願いします。

鈴木晶斗（法学研究科） ja0230se@ed.ritsumei.ac.jp
伊東香純（先端総合学術研究科） itokasumi24@gmail.com

ポスター作成：高木美歩（先端総合学術研究科）